

# 平成22年度 法人会計予算の概要

事務局長 中野 拓美

平成22年3月19日の理事会及び評議員会において平成22年度事業計画が決定され、またそれに基づいた平成22年度予算が承認されましたので、資金収支予算書及び消費収支予算書の総括表を示し、その概略を説明させていただきます。

## I. 資金収支予算（表1）

### 1. 資金収入予算

- (1) 学生納付金収入については、学部学生は入学定員270名、授業料は、新入生は前年度比0.1百万円増額の1.8百万円、及び2～5年次生は1.7百万円とし、入学金は0.1百万円減の0.4百万円とした結果、1学年分在籍者が増えることもあり、大学院生分等も含め、前年度より335百万円増の2,673百万円を計上しました。
- (2) 手数料収入については、入学志願者数の減少を見込み、その他の手数料と合わせて、77百万円を計上しました。
- (3) 寄付金収入については、一般寄付としての同窓会及び桔梗育友会からのご寄付の他、企業等からの奨学寄付の申込を見込み、合わせて前年度比同額の25百万円を計上しました。
- (4) 補助金収入については、経常費国庫補助金や4号館耐震改修工事・戦略的大学連携支援事業・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係の補助金他を見込み、前年度を上回る508百万円を計上しました。
- (5) 資産運用収入については、期中に運用利回りを年1.4%程度と想定した結果、前年度比同額の101百万円を計上しました。
- (6) 事業収入については、補助活動収入（寮費収入等）と企業等からの受託事業収入を合わせ前年度比ほぼ同額の37百万円を計上しました。
- (7) 雑収入は、私立大学退職金財団交付金他で、63百万円を計上しました。
- (8) 前受金収入は、学部入学定員270人を前提に平成23年度入学手続者分他として386百万円を計上しました。
- (9) その他資金関係では、今年度予定されている4号館耐震改修工事のための減価償却引当資金からの取崩分650百万円や、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業のための第2号基本金引当資金（施設設備整備引当資金）からの取崩分100百万円が予定されており、これらを含めたその他の収入として926百万円を計上しました。

### 2. 資金支出予算

- (1) 人件費支出については、教育職員と事務職員に例年通り若干の補充枠を見込み、非常勤教員等の給与や定年退職者の退

職金等に戦略的大学連携支援関係費などを合わせ1,716百万円を計上しました。

- (2) 教育研究経費支出については、通常の支出に加え、ひきつづき学部実習（特に今年度から実施予定の長期実務実習）や共用試験に関する6年制対応関係費に戦略的大学連携支援関係費などを含め、前年度比192百万円増の1,003百万円を計上しました。
- (3) 管理経費支出については、通常支出のほか派遣業務費や広告費等の増額計上や戦略的大学連携支援関係費などで前年度比22百万円増の255百万円を計上しました。
- (4) 借入金利息支出については、日本私立学校振興・共済事業団の借入金利息として11百万円を、また、借入金返済支出については、同事業団への約定返済を中心に47百万円をそれぞれ計上しました。
- (5) 施設関係支出については、4号館耐震改修工事650百万円、正門改修（追加）・北門改修工事・2号館屋上防水工事他で、合計723百万円を計上しました。
- (6) 設備関係支出については、2号館空調設備更新30百万円、学内LAN機器更新18百万円、戦略的大学連携支援関係18百万円、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係100百万円、研究機器費、実習用機器費、その他で合計276百万円を計上しました。
- (7) 資産運用支出については、減価償却引当資金200百万円・教育充実準備積立金100百万円や、第2号基本金引当資金のうち教育環境整備引当資金・大型機器充実引当資金・施設設備整備引当資金の計210百万円の積立等を行うこととし、前年度比150百万円増の520百万円を計上しました。

### 3. 次年度繰越支払資金

以上の収支の他、資金調整勘定等の差引を加味した次年度繰越支払資金は490百万円と、前受金386百万円を上回り、資金収支予算上の安全性は確保されています。

## II. 消費収支予算（表2）

消費収支については、資金収支の内容を基に、帰属収入3,484百万円から967百万円を基本金へ控除組入れし、支出には減価償却費を加算した結果、当年度の収支は922百万円の支出超過となり、これにより翌年度への繰越消費収入超過額が前年度より減少し89百万円となるため、予算執行に際しては、改めて支出の見直しの強化などにより経費節減を進め、ひきつづき収支改善に努力していく所存でありますので、ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。